# 平成30年度 東京都・中央区・港区合同総合防災訓練の実施について

東京都は、中央区及び港区と合同で下記のとおり総合防災訓練を実施しましたので、お知らせします。 なお、本訓練は、九都県市合同防災訓練の東京都会場として実施しました。

### 1 訓練名

平成30年度東京都・中央区・港区合同総合防災訓練

#### 2 目的

震災時における都、区、各防災機関との連携の強化及び自助・共助に基づく地域防災力の向上を 図るため、実践的な訓練を実施

### 3 実施日時

平成30年9月2日(日曜日) 9時00分から12時00分まで

### 4 想定

首都直下地震(マグニチュード7.3) 【冬の18時、風速8m/sの被害規模を想定】

# 5 参加機関・規模

(1) 参加機関(団体):約70機関(団体)

(2) 参加人員 : 約7,000名

### 6 主な訓練会場

- (1) 東京都庁、中央区役所・港区役所
  - ・職員参集、本部審議訓練など地震発生時の災害対策本部の運営手順の確認
- (2) 中央区会場(中央区浜町公園及び周辺地域)
  - ・警察・消防・自衛隊等の防災機関が連携した救出救助
  - ・住民による自助・共助訓練、防災機関による展示・体験型訓練
  - ・緊急医療救護所における医療救護訓練
  - 検視・検案・身元確認訓練
- (3) 港区会場(港区お台場学園及び周辺地域)
  - ・住民による自助・共助訓練、防災機関による展示・体験型訓練
  - ・緊急医療救護所における医療救護訓練
  - 罹災証明書発行等訓練
  - ・船舶を活用した訓練
- (4) 有明の丘基幹的広域防災拠点その他
  - ・輸送機関等による緊急支援物資避難所搬送

### 7 訓練の様子

(1) 東京都災害対策本部審議訓練

平成30年8月31日(金)午前7時30分、東京湾北部を震源とするM7.3の地震(最大震度7)が発生し、各局等、必要な情報収集の後、東京都災害対策本部会議を開催することを想定した訓練を実施しました。

また、東京都災害対策本部室と中央区区役所及び港区役所で、テレビ会議を実施しました。





# (2) 中央区会場

## • 救出救助訓練

首都直下地震などの大規模災害が発生した場合、住宅の崩壊や火災、道路の陥没などが発生する おそれがあり、ガレキ等の障害物による緊急交通路の不通や家屋倒壊による下敷きや火災による死 傷者が多数発生することが想定されます。そのため、発災直後における自助・共助による初期消火 や救出救助等の活動、そして、各防災機関が連携しての公助活動が極めて重要となります。

今回、中央区立浜町公園内野球場及び周辺地域で実施した救出救助訓練は、首都直下地震の発生によって想定される救助事象について、住民同士の自助・共助による救出から、警察・消防・自衛隊といった公的機関の連携による救出までの一連の流れを行うため、住民の自助共助による救出救助訓練、道路啓開訓練、地下鉄駅における多数傷者発生時の対応訓練、公助機関による救出救助訓練、を実施しました。

住民の自助共助による救出救助訓練では、地震により複数の傷者が発生し、日本橋地域の各自治会・自衛消防隊が怪我人の救助を実施しました。

道路啓開訓練では、東京都建設局が主体となりガレキ等で閉塞された道路の状況を確認したのちに、チェーンソーや重機を活用して道路上のガレキ及び倒木等の除去を行うとともに、陥没した道路に鉄板を敷いて通行できるように応急復旧を行いました。

多数傷者発生時の対応訓練では、地震の発生を受け、都営地下鉄浜町駅の駅員が構内を確認した ところ、階段での転倒等により多数の傷者が発生していることを確認。改札口付近のコンコース上 に仮設救護所を設置するとともに、消防に応援を要請し、傷者の救護を実施しました。

公的機関による救出救助訓練では、災害救助犬やドローンによる上空捜索ののち、各機関の車両 部隊が進出して、救出救助訓練活動を実施しました。また、隅田川テラスにおいて、川に転落した 要救助者を救出する水難救助訓練を実施しました。

さらに、明治座(浜町センタービル)では、屋上に設置されているヘリコプターの緊急救助用スペースを活用した負傷者の救出訓練を実施しました。

# 救出救助訓練の様子

















### ・ 住民による自助・共助訓練、展示・体験訓練

地震などの大規模災害時には、住民一人ひとりが自らを守る「自助」と、住民同士がお互いに助け合って初期消火や救出救助を行う「共助」が非常に重要となります。本訓練は、住民同士や小学生・中学生・高校生らによる救出救助、応急救護、初期消火などの体験訓練、応急給水訓練を実施することで、自助・共助による地域の防災力向上を図る目的で実施しました。また、訓練会場内に各防災関係機関の展示ブースを設置し、一般来場者等を対象に幅広く防災に関する展示・体験型訓練を行いました。







### • 医療救護班活動訓練

東京都、中央区における災害時の医療救護体制の検証を行うため、浜町公園にて、医療救護所の設置・運営、トリアージ及び応急処置・搬送受入先調整に関する訓練を行いました。また、今回の訓練では救出救助訓練と連携して訓練を実施し、救出救助から医療救護までを一貫して実施することにより、他機関との連携とその実効性の確認を実施しました。

併せて、中央区災害医療コーディネーターを中心とした、医療救護活動拠点及び医療救護所間での情報伝達や、医薬品・医療物資等の調達の確認を行いました。

医療救護訓練の様子





### 検視・検案、身元確認訓練

中央区立総合スポーツセンターにおいて、検視、検案、身元不明死体に対する身元確認及び火葬 許可証交付までの訓練を実施しました。

本訓練は、中央区、警視庁、医師会、歯科医師会、歯科衛生士会、日本赤十字社東京都支部、東京都監察医務院等の協力の下行われました。

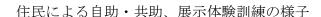
災害時に一人でも多くの生命を救うことは当然ですが、ご遺体についても死者への尊厳と遺族の感情を十分に配慮する必要があります。各機関は、ご遺体を収容から火葬まで迅速、かつ、適切に取り扱えるように一連の作業を確認しました。

## (2)港区会場

・ 住民による自助・共助訓練、展示・体験訓練

港区会場の自助・共助訓練では、初期消火訓練やマンションにおける避難を想定した隔壁破壊訓練、応急給水訓練などの自助・共助訓練のほか、地震動シュミレーターによる地震体験や未就学児が防災に関する行動を覚える防災ダックなど幅広い体験型訓練を実施するとともに、各防災関係機関の展示ブースを設置し、一般来場者等を対象に幅広く防災に関する展示・体験型訓練を行いました。

また、要配慮者の疑似体験や支援体験、関連制度の紹介などの要配慮者に係る訓練を集約した「要配慮者訓練エリア」を設定し、多様な訓練を受け易くすることで、要配慮者と支援者の交流による相互理解や防災に対する意識の醸成を図りました。



















### • 医療救護班活動訓練

東京都、港区における災害時の医療救護体制の検証を行うため、お台場学園港陽小・中学校にて、 医療救護所の設置・運営、トリアージ及び応急処置・搬送受入先調整に関する訓練を実施しました。 併せて、港区災害医療コーディネーターを中心とした、医療救護活動拠点及び医療救護所間での情報伝達や、医薬品・医療物資等の調達の確認を行った。



医療救護班活動訓練の様子



### · 罹災証明書発行等訓練

災害時に被災者が各種支援制度(生活再建支援金・義援金・税の減免等)の適用を受けるために 必要となる罹災証明書を迅速に発行するために開発された「被災者生活再建支援システム」を活用 し、区市町村職員及び東京消防庁の協力のもと、住家被害認定調査、罹災証明書の発行、被災者生 活再建支援相談等、生活再建支援の一連の流れを住民が体験できる訓練を実施しました。

# ・船舶を活用した訓練

発災時における交通手段としての船舶の有用性及び課題の検証及び水際の救助活動の演練を目的 として、船舶を使用した訓練を実施しました。港区会場では、救出救助機関の部隊進出や水難救助な どのほか、医療スタッフ及び医療物資の搬送訓練を実施しました。

船舶を活用した訓練の様子

















### · 緊急支援物資輸送訓練

首都直下型地震が発生し、平常時の市場流通機能が被害を受けた場合においても、避難者の生命を守るためには、食料・水等の生活必需品を確保し、迅速かつ的確に避難者へ供給する必要があります。今回の訓練では、都の備蓄倉庫から都内広域輸送基地や地域内輸送拠点、避難所などの各結節点を陸上輸送及び航空輸送により接続させ、物資を円滑に避難所に投入するための実施体制について検証しました。

緊急支援物資輸送訓練の様子









### ・ 炊出し訓練

中央区、港区両会場で、関係機関やボランティア等が協力し、カレーライスや五目御飯の炊き出しを実施しました。

炊出し訓練の様子



